

SHIZUOKA CITY SHIZUOKA HOSPITAL

臨床研修 / 専門医研修案内



静岡市立静岡病院
SHIZUOKA CITY SHIZUOKA HOSPITAL

HOSPITAL OVERVIEW

数字で見る病院概要



病院規模・指導体制・研修環境

科目数

31 科

病床数

506 床

医師数

全体医師数
 171 名

うち臨床研修指導医数

60 名

研修プログラム

選択研修期間

32 週

研修計画

協力型病院・協力施設の総数

59 施設

Hospital Features

病院の特徴

静岡は気候も人も温かいことで有名な土地柄です。その静岡で150年以上の歴史を有し、市民に親しまれ頼りにされてきたのが静岡市立静岡病院です。当院は明治2年開設で全国でも最も歴史ある病院のひとつですが、常に新しい医療を取り入れ、最善の医療が提供できるよう職員は研鑽を重ねています。世界に先駆け冠挙縮性狭心症を発見した循環器内科をはじめ、全ての診療科が他に誇れる特色を有しており、心のこもった質の高い診療を行っています。断らない救急をモットーに、市内トップの救急搬送数と応需率を誇り、市民からも診療所からも頼りにされている病院です。また当院は、地域がん診療連携拠点病院や県内唯一の第一種感染症指定医療機関であるなど、市や県の重要な役割も担っている病院です。



教育研修管理センター長インタビュー

教育研修管理センター長／血液内科 主任科長
前田 明則 先生

当院の臨床研修プログラムでは、1年次に内科・外科・救急をローテートすることで、まず基本的な診療能力を身につけます。2年次の必修研修4か月(産婦人科、小児科、精神科、地域研修)以外の8か月間は選択研修期間としており、経験が不足している領域や、さらに診療能力を高めたい領域を、個々の研修医が選択することで、自分にとって最善のオーダーメイドの研修が行えます。指導体制も充実しており、救急や各診療科での研修は、上級医(指導医～専攻医)とともにを行う屋根瓦方式の研修であり、やる気さえあれば上級医の指導の下あらゆる経験ができます。市内トップの救急搬送数を誇る当院の救急はいわゆるER型救急であり、軽症から重症まで様々な症例を担当できます。当直や救急ローテート中に1年次研修医が経験する症例数は1年間平均400～500例で、日々に自分の診療能力がアップしていることを実感できます。また院内外の講師によるセミナーや講演会、シミュレーションラボなど研修医向けの教育環境も充実しています。

救急(ER型)研修

救急車年間搬送件数 (2022年度実績)

6,989 台

救急外来年間患者数 (2022年度実績)

12,958 人

救急外来年間経験症例数 (1年次研修医2022年度平均)

523 件

月間当直回数

3~4 回/月

研修プログラム

研修計画

臨床研修医採用

選択研修期間

32 週

募集定員

13 名

医師臨床研修マッチング

10 年連続
フルマッチ

RESIDENT

臨床研修医



About Clinical Training

臨床研修について

静岡市立静岡病院 臨床研修理念

臨床研修は、医師が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たす社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる疾病または負傷に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技術・知識)を身につけることのできるものでなければならない。



基本方針

- 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)を身につける。
- 幅広い疾患を研修する。(スーパー・ローテーション研修)
- 頻度の高い一般的な疾患の研修を習得する。
- 基本的な診療業務ができるレベルの資質・能力を修得する。

- 救急医療体制を重視する。
- 地域医療を理解する。
- チームで教育する。(屋根瓦方式)

31科506床を有する中核病院

31科506床を有する静岡市の急性期医療を担う中核病院。全国から集まる研修医は1学年定員13名で、60名在籍する指導医から手厚い指導が受けられます。



出身大学一覧

北海道：北海道大、旭川医大

東北：弘前大、秋田大、山形大、岩手医大、福島医大

関東：筑波大、群馬大、東京大、慶應大、東京医大、東京医科歯科大、日本大、東京女子医大、帝京大、東邦大、

日本医科大学、昭和大、順天堂大、杏林大、獨協医大、国際医療福祉大、東京慈恵会医大、北里大、東海大、聖マリアンナ医大、山梨大

中部：信州大、新潟大、金沢大、富山大、福井大、浜松医大、愛知医大、三重大、岐阜大

近畿：京都大、関西医大、近畿大、滋賀医大、奈良県立医大

四国：高知大、徳島大

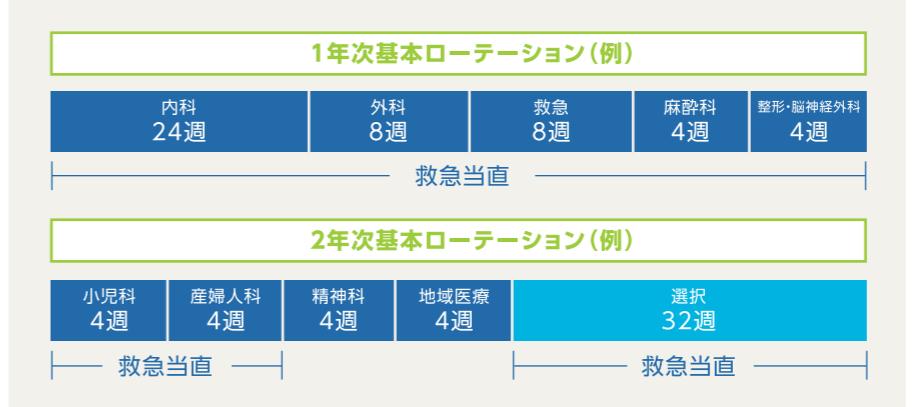
中国：広島大、鳥取大、山口大

九州：福岡大、産業医大、大分大、佐賀大

ハンガリー：セゲド大学

基本ローテーションについて

基本ローテーションは内科・外科・救急・麻酔科・整形外科or脳神経外科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療を必修とする。選択研修期間が32週あり、既習科目の再履習や自身の将来を見据えた診療科のローテーション計画を組み立てることが可能なプログラム。



ER型救急について

2年間断続的なER型救急で研修(研修医は屋根瓦体制のもと、日中・夜間救急、休日の日当直業務に従事)

多様な院外研修

地域医療・精神科・小児科の各研修をはじめ、多種多様な院外研修先の中から、自身の希望・キャリアに応じた研修計画が組み立て可能。

協力型臨床研修病院の紹介

静岡市立清水病院 (選択科目:脳神経内科)	静岡赤十字病院 (選択科目:脳神経内科)	静岡県立こども病院※ (選択科目:小児科)	溝口病院 (精神科領域)
日本平病院 (精神科領域)	清水駿府病院 (精神科領域)	静岡県立こころの医療センター(精神科領域)	共立蒲原総合病院 (選択科目:内科)

※小児科を8週以上選択した場合に研修可能



臨床研修協力施設の紹介

静岡富沢病院	熱川温泉病院	西伊豆健育会病院	JA静岡厚生連 清水厚生病院
静岡市医師会診療所 静岡市保健所 静岡県赤十字血液センター	岡本石井病院	土別市立病院 (北海道士別市)	翔南病院 (沖縄県・沖縄市)

■の施設は地域医療(必修)の研修病院

充実したバックアップ体制

多彩な研修支援プログラムによりスキルアップや自己啓発、学習環境を提供。

シミュレーションラボは24時間365日利用可能。研修のバックアップ体制が充実。

各種支援プログラム

新採用オリエンテーション、テルモメディカルプラネット新人職員研修、救急レクチャー、外科系手技講義、ICLS講習会、JMECC(内科救急)講習会、院内CPC、内科カンファレンス、感染症治療道場、院内救急セミナー、救急講演会、検査科・薬剤科研修、静岡市研修医を育む会主催歓迎セミナー、同地域医療研修懇談会、静岡県医師会主催Webセミナー、同屋根瓦塾、静岡市医師会診療所研修、静岡市保健所研修、静岡市消防局救急自動車同乗見学研修、献血業務、シミュレーターを活用した各種研修、各科重点研修項目(クルーズ研修)他

シミュレーションラボ

24時間365日使用可能。
医療現場に必要な基本手技の修得から専門医取得のための高度な技術トレーニングができるシミュレーター等、約60種90体(台)以上を保有。
各科のシミュレーターを活用した研修、各科重点研修項目(クルーズ研修)他



採用試験・募集要項

募集定員

13名

研修期間

2年間

応募資格

- 医学部卒業または卒業見込みの者で、医師免許証取得者または取得見込の者
- マッチングシステムに参加登録する者

選考方法

書類選考・筆記試験及び面接とマッチングにより行う

必要書類

- 採用試験申込書
- 医学部の卒業(見込)証明書
- 成績証明書

選考時期

毎年8月に実施

給与

研修医1年次基本給：366,700円／月

年俸換算(目安)7,600,000円程度

1,072,597円／年

賞与

手当等

時間外手当、住居手当、雇用保険、労災保険、公的健康保険、厚生年金保険

年次有給休暇年間20日、夏季休暇5日、慶弔休暇、産前産後休暇等

勤務医賠償責任保険病院加入、院内保育施設有、院内wi-fi環境有

Message

—— 臨床研修医のメッセージ



Interview

インタビュー



副センター長インタビュー

教育研修管理センター 副センター長／プログラム責任者／消化器外科 科長

小林 敏樹 先生

当院は学閥がなく、全国様々な大学から研修医の先生が集まり、互いに切磋琢磨しやすい環境です。また診療科間の垣根も低く、気軽にコンサルトしやすい救急診療体制です。上級医の先生方も指導熱心であり、各科で毎月研修医対象の様々なレクチャーを開催するなど、学びの環境も充実しています。ぜひ一度、当院の臨床研修の見学にお越しください。



副センター長インタビュー

教育研修管理センター 副センター長／産婦人科 科長

米澤 真澄 先生

当院の基本理念に、開かれた病院、質の高い医療の提供、福祉の増進を掲げています。当院の初期研修で common diseases における基礎知識を十分身につけた上で、高度専門医療に日常的にふれて発展させる力を蓄え、患者さんに優しい全人的医療を提供できる医師の育成をバックアップします。



指導医インタビュー

指導医／脳神経外科 医長

米澤 慎悟 先生

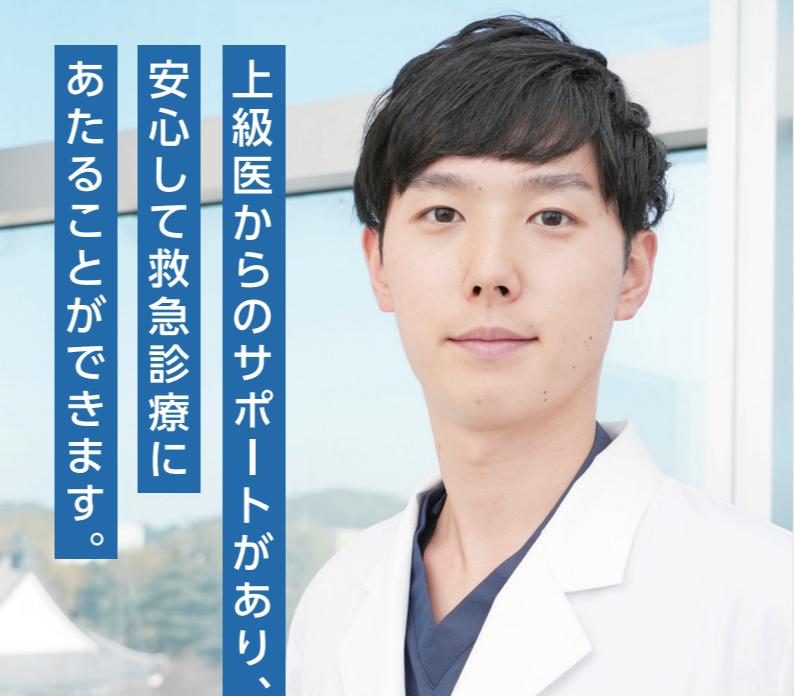
当院での臨床研修は、周りからのサポートも受けやすく、一人で悩む不安を減らしてくれます。分からぬこと、不得手なことは、当然誰にでもあることですが、日々の研修の中でこれらを昇華していくように、そのお助けができるればと考えています。どうぞ静岡病院に一度見学にいらしてください。



シミュレーターの充実や
研修医対象の講習会が多数あり、
サポートが整っています。

研修医インタビュー 佃 さゆり 先生(2023年卒)

院内には24時間利用可能なシミュレーションラボがあり、業務の隙間時間や仕事の後などにいつでも手技の自己練習を行うことができます。上級医の先生も利用しているのでお会いした時は指導が受けられ大変勉強になります。また月に数回研修医向けの講習会が開催されるため、心肺蘇生などの救急の初期対応から各科で必須の手技や知識等を学ぶことができ、有意義な研修生活を送ることができます。



研修医インタビュー 金田 舞 先生(2023年卒)

当院は「断らない救急」をモットーに静岡市内一の年間救急車受入台数を誇り、それに比例して経験症例数が非常に多いのが特徴です。研修医はファーストタッチだけでなく問診・診察から検査オーダーまで全て自分で行いますが、同じフロアに上級医が常駐しており、診察や検査の方針などを気軽に相談できる環境が整っているため、安心して診療にあたることができます。また当直勤務明けが必ず休みとなり勤務間インターバルが確保される等、働き方改革が推進されています。ぜひ一度、当院へ見学にお越しください。

指導熱心な上級医が多いことが特徴です。
病院内の雰囲気がよく、

研修医インタビュー 岩田 翔暉 先生(2023年卒)

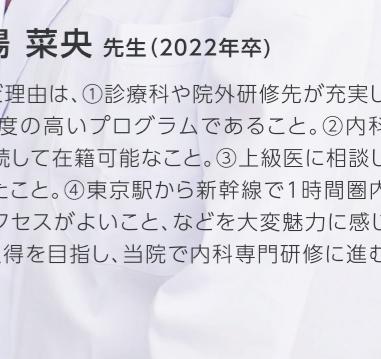
当院は何といっても雰囲気の良い病院であり、優しくそして指導熱心な上級医が多いです。各科ローテート時に必ず担当の指導医がつきますが、その指導医はもちろん他科の先生にも気軽に指導を受けることができるため、救急症例などコンサルティングしやすいのも特徴です。また、メンター制度を導入しており、話しやすい上級医に日常的な悩み等、何でも相談できる環境となっていることは大変強みです。



理由が多数あります。
臨床研修先として選びたくなる
静岡病院には、

研修医インタビュー 嘉陽 菜央 先生(2022年卒)

私が当院を研修先として選んだ理由は、①診療科や院外研修先が充実しており、選択研修8カ月と自由度の高いプログラムであること。②内科・外科・麻酔科の専門研修に継続して在籍可能なこと。③上級医に相談しやすい穏やかな雰囲気であったこと。④東京駅から新幹線で1時間圏内の静岡市内中心部に立地しアクセスがよいこと、などを大変魅力に感じたからです。将来は専門医の取得を目指し、当院で内科専門研修に進む予定です。



SPECIALIST

専門医研修



Interview

インタビュー



内科プログラム責任者インタビュー

教育研修センター 副センター長／循環器内科 主任科長

繩田 隆三 先生

内科医として広く対応できる臨床能力を身につけ、チーム医療の一員としてのコミュニケーション力、問題解決力の育成を図ることを目標としています。各分野ともガイドラインに則った専門的な治療を行っており、サブスペシャルティ領域を目指すための豊富な症例を経験できます。また、指導医や上級医との垣根が低く症例毎にきめ細かい指導を受けられるため、キャリア形成に必要な基礎を十分に学ぶことができます。恵まれた研修環境の中で内科医としてのスタートを踏み出してください。



外科プログラム責任者インタビュー

教育研修センター 副センター長／外科・消化器外科 主任科長

前田 賢人 先生

「次世代を担う優れた若手外科医の育成」を理念に、知識・技術のみならず、外科医としての心構えを指導し、外科医としての基本を身に着けていただきます。バラエティーにとんだ数多くの症例には、高難度の手術のみならず、初学者向けの手術や緊急救手術も数多く、外科医としての醍醐味を味わえます。連携病院を含め、多くの先輩や上級医、指導医がみなさんの参加をお待ちしています。



麻酔科プログラム責任者インタビュー

麻酔科 主任科長

玉里 順子 先生

静岡病院には教育に情熱を注ぐ指導医達が揃っています。

充実した教育プログラムの中で重症度が高い症例を数多く経験してもらいますので、将来の教育者を目指す、やる気に満ち溢れた先生方の応募をお待ちしております。

採用試験・募集要項

募集定員 内科8名／外科5名／麻酔科3名

応募資格 卒業後2年間の臨床研修を修了した者

あるいは採用試験実施年度中に修了見込みの者

研修期間 内科・外科 3年間／麻酔科 4年間

必要書類 1.専門医研修申込書 2.履歴書

3.臨床研修了(見込)証明書(様式は任意)

4.医師免許証(写) 5.推薦状

選考方法 面接試験・書類審査

選考時期 每年9月以降隨時実施

連携施設 各プログラムのページを参照

給与 月額平均 1,050,000 円程度

(時間外手当を含む2022年度専攻医の支給平均額)

※連携施設での研修時は研修先施設の規程により支給。

手当等 住居手当、雇用保険、労災保険、公的健康保険、厚生年金保険
年次有給休暇年間20日、夏季休暇5日、慶弔休暇、産前産後休暇等

休暇 勤務医賠償責任保険病院加入、院内保育施設有、院内wi-fi環境有

Internal Medicine

— 内科専門医 —

本プログラムは当院を基幹に9つの病院と研修施設群を構成し、十分な症例数と専門医取得のための質の高い研修がおこなえる環境が整っています。プログラム終了時には内科医としての自信を持つことができ、さらに診療能力を磨きあげていける土台を築くことができるプログラムです。また、各領域での専門医の取得がスムーズに行えるよう、研修達成度に応じ、早期からサブスペシャルティ領域での研修も十分行えるよう配慮しています。

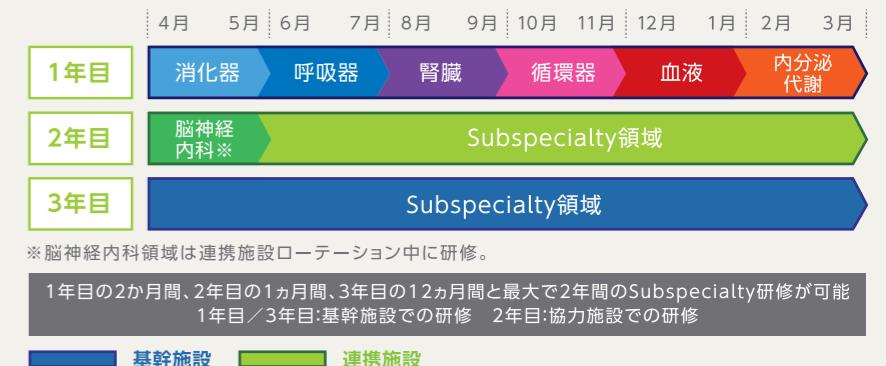


Program Features

プログラムの特徴



研修スケジュールの例 (Subspecialty重視型のローテーション例)



研修施設群

施設名	内科系 病床数	内科系 診療科
静岡市立静岡病院【基幹】	233床	9科
静岡県立総合病院	379床	9科
静岡赤十字病院	176床	8科
静岡済生会総合病院	140床	8科
静岡市立清水病院	108床	6科
JA静岡厚生連 静岡厚生病院	48床	2科
静岡県立静岡がんセンター	300床	13科
京都大学医学部附属病院	380床	10科
国立循環器病研究センター	300床	7科
共立蒲原総合病院(特別連携施設)	128床	5科

指導体制

内科指導医 (J-OSLER指導医)	22名
日本内科学会総合内科専門医	21名
日本消化器病学会消化器病専門医	6名
日本循環器学会循環器専門医	11名
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医	1名
日本糖尿病学会糖尿病専門医	1名
日本腎臓学会腎臓専門医	2名
日本透析医学会透析専門医	2名
日本呼吸器学会呼吸器専門医	5名
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医	3名
日本血液学会血液専門医	3名
日本アレルギー学会専門医	3名
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医	5名
日本不整脈心電学会不整脈専門医	2名



手技・診療実績 (2022年度実績)

循環器内科	冠動脈インターベンション延数:395例、カテーテルアブレーション:368例、TAVI:102例、マイトラクリップ:13例、急性心筋梗塞患者数:142人
消化器内科	上部消化管内視鏡検査:3757例、下部消化管内視鏡検査:2574例、ESD(食道・胃・大腸):82例、ERCP(内視鏡的胆管造影):286例、RFA(経皮的ラジオ波焼灼療法):83例
血液内科	白血病入院症例数:59例、悪性リンパ腫入院症例数:76例、骨髄腫入院症例数:26例
呼吸器内科	1日の平均患者数(入院):55.4人、1日の平均患者数(外来):70.1人、気管支内視鏡検査数(年間):261例
内分泌・代謝内科	入院2型糖尿病:136件、入院1型糖尿病:20件、外来内分泌負荷試験:131件
腎臓内科	腎生検数:30例、透析導入者数:81人、アクセス関連手術:370例(内シャント増設:91例、人工血管シャント増設:28例、小手術・PTA・その他:226例)

Surgery

外科専門医

専門性の高い指導陣のもと、外科専門医取得に必要な症例を概ね最初の2年間で経験できます。

また、研修2年次以降では将来希望する分野を中心に研修することにより、続くサブスペシャルティ領域の専門研修へスムーズに連動します。

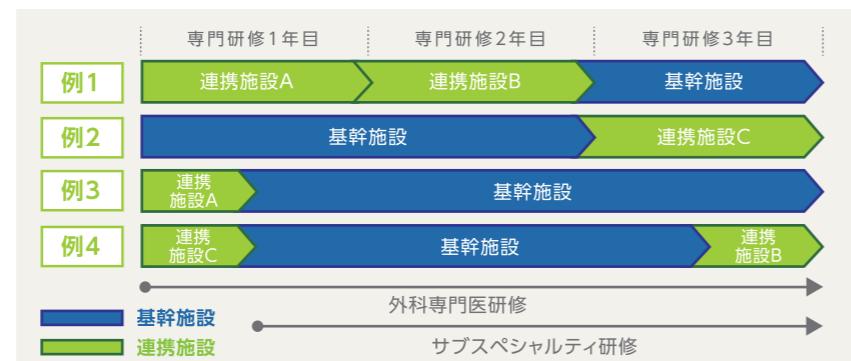


Program Features

プログラムの特徴



研修スケジュールの例



指導体制

日本外科学会外科専門医	24名
日本外科学会指導医	16名
日本消化器外科学会消化器外科専門医	10名
日本消化器外科学会消化器外科指導医	4名
日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医	3名
日本呼吸器外科学会呼吸器外科指導医	3名
心臓血管外科学会専門医認定機構心臓血管外科専門医	7名
心臓血管外科学会専門医認定機構心臓血管外科修練指導者	3名
日本乳癌学会乳癌専門医	2名
日本食道学会食道外科専門医	2名
日本内視鏡外科学会内視鏡外科技術認定医	4名
日本内視鏡外科学会ロボット支援手術認定プロクター(指導医)	1名
日本脈管学会脈管専門医	2名
ステントグラフト指導医	5名
経カテーテル的大動脈弁置換術指導医	2名

連携施設

静岡県立こども病院／静岡市立清水病院／島田市立総合医療センター／浜松労災病院

専攻医の施設症例経験状況

*2021年度研修修了、心臓血管外科専攻の医師例

研修時期	施設名	症例数
臨床研修中	関東の大学病院関連施設	術者:15例、助手:56例、合計:71例
専門研修1年目	浜松労災病院	術者:111例、助手:95例、合計:206例
専門研修2年目	静岡市立静岡病院	術者:52例、助手:163例、合計:215例
専門研修3年目	静岡市立静岡病院	術者:64例、助手:142例、合計:206例
臨床研修+専門医研修	静岡県立こども病院(研修期間2週間)	術者:0例、助手:17例、合計:17例
		術者:242例、助手:473例、合計:715例

外科領域における年間手術数(2022年度実績)

施設名	静岡市立 静岡病院	静岡県立 こども病院	静岡市立 清水病院	島田市立 総合医療センター	浜松労災病院
消化管および腹部内臓	893	0	458	683	345
乳腺	94	0	1	47	75
呼吸器	148	0	38	80	7
心臓・大血管	394	287	0	0	195
末梢血管(頭蓋内血管を除く)	92	0	62	3	44
頭頸部・体表・内分泌外科	376	0	13	0	42
小児外科	0	678	0	9	6
外科領域 上記合計	1,997	965	572	822	714
※上記各分野における内視鏡手術(腹腔鏡・胸腔鏡を含む)	722	300	267	530	230



Anesthesiology

麻酔科専門医

当院は心臓血管外科症例を中心として、市中病院でありながらも数多くの重症症例や心疾患合併症例を経験豊富な指導医の元で経験できる施設であり、専門医になるための様々な要素を4年間に集約させています。連携施設の中で知識や経験を確実に積み上げて将来の教育者を養成するための階層構造となっており、研修後半には専門医取得後を見据えた様々なサブスペシャルティが選択できます。



Program Features

プログラムの特徴

研修スケジュールの例



指導体制

頻回に開催される経食道エコーや神経ブロック等の講義、VET-LABO、ハンズオンセミナーで基礎的知識を蓄えつつペッディサイドでマンツーマンの実技指導が受けられる体制となっています。

他にも麻酔科医に必須の基本講義やDAMを含めた危機管理シミュレーション等、学会のガイドラインに沿った教育プログラムを数多く開催しており、静岡病院麻酔科ならではの充実した専攻医生活が送れます。

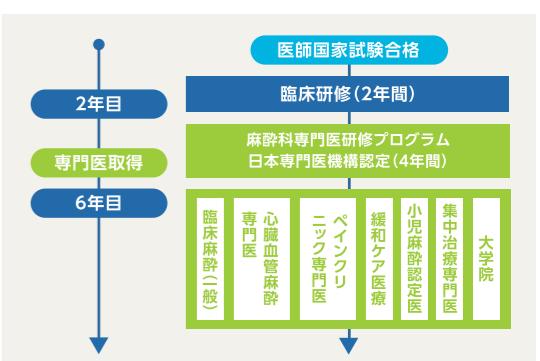
プログラムの特色

- 心臓血管外科を中心とした豊富な症例数
- 専門性の高い指導陣
- サブスペシャルティ研修への連動
- 大規模関連施設との密な連携
- 地域医療への対応
- 当院主催の研究会に企画・参加
- 診療科の垣根を超えたチーム医療
- 徹底した基本手技の経験と教育指導

- プレゼン、学会発表のマンツーマン指導
- 徹底した医療安全教育



キャリアパス



専攻医経験症例数

2年目専攻医 当院1年間で籍中の実績

- 経験症例数 350症例/年
- 心臓外科・循環器 150症例/年
- 中心静脈穿刺回数 150回/年
- 区域麻酔経験症例数 150症例/年
- JB-POT 合格
- J-RACE 合格
- ICLSインストラクター資格 取得

麻酔科管理症例数(2022年度実績)

施設名	症例数
静岡市立静岡病院	3,133
東京女子医大病院	6,609
自治医大附属さいたま医療センター	5,681
聖隸浜松病院	7,695
東京品川病院	2,667
倉敷中央病院	5,256
合計	31,041



静岡市立静岡病院へのアクセス

住所：〒420-8630 静岡市葵区追手町10番93号

TEL：054-253-3125(代表)



JR静岡駅から当院までの所要時間(目安)

- 歩行：15分
- バス：7分
- タクシー：5分

新幹線利用時のJR静岡駅までの最短時間

- 東京から 59分
- 名古屋から 54分
- 新大阪から 109分

病院見学のご案内

対象：原則医学部5年生以上の方、当院で臨床研修・専門医研修を検討中の方。

申込方法：見学申込書に必要事項を入力の上、2週間前までにメールにて申し込み。

受付後、診療科と調整の上、連絡。見学可能診療科はHPを参照。

申込はQRコードから

その他：大学医学部の最寄り駅からJR静岡駅までの往復交通費を病院規程により支給。

上限5万円 ※1人1回まで、医学生に限ります。

遠方からお見えの方は、当院医師住宅に前泊することができます(要事前申込)。

※但し、部屋数に限りがあります。



オンライン説明会のご案内

対象：医学部5年生以上の方、当院で臨床研修・専門医研修を検討中の方。

申込はQRコードから

開催日時：平日17時30分以降に随時開始。



申込方法：ホームページの申込みフォームより、カメラ・マイクのあるPCまたは、

タブレットPCおよび『Webex by CISCO』を使用。

長時間になるため、安定したWi-Fi環境と屋内等の静かな環境をご準備下さい。

静岡市立静岡病院
教育研修管理センター

TEL : 054-253-3125 (代表)
Mail:kyouiku@shizuokahospital.jp
WEB : www.shizuokahospital.jp/recruit/residency

